

平成29年度 青山台留守家庭児童育成室の検証結果について

平成30年8月

吹田市教育委員会

地域教育部放課後子ども育成課

吹田市立青山台留守家庭児童育成室「ひまわり学級」(以下「青山台育成室」とする。)については、平成28年4月からこれまでの直営での運営から、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会に業務委託している。

児童福祉法においては、事業に必要な水準を確保するために市町村による事業者への調査や命令等が定められており、運営業務を民間に委託している留守家庭児童育成室(以下「育成室」とする。)に関しては、直営で運営している育成室とは違い、前述のような観点から、放課後子ども育成課による検証を行い報告するものである。

～検証方法～

- 1 放課後子ども育成課職員[担当事務職員、スーパーバイザー(元公立保育園保育士:SV)]による現地視察(週1回程度)
- 2 保護者へのアンケート:年間2回
(1学期・夏休み2学期利用について、年間利用について)
- 3 事業者への聴き取り
- 4 チェックシートを用いた業務の履行状況の確認と評価

1 青山台育成室の児童数について

青山台育成室については、平成30年5月時点で32名在室しており、学年の内訳は、1年生が12名、2年生が4名、3年生が6名、4年生が8名で、モデル事業として行っている4年生以降の配慮を要する児童(障がいをもつ児童)が2名在籍している。1教室で運営しており、市内の育成室の中では最も少なく、市内の小学校の規模としても最少の児童数の小学校となっている。

2 青山台育成室への入室率(小学校児童のうち育成室を利用している児童の割合)の推移について

青山台育成室の平成26年度から平成30年度までの入室率は、【表1】のとおりとなっている。業務委託を開始した平成28年度に大きく下がっており、ようやく平成30年度は微増に転じた。後述のアンケートの集計結果では、児童、保護者の満足度は高いにもかかわらず、入室率が低迷していることについて、今後も研究していく必要があると考えられる。また、青山台育成室の途中退室児童数の推移は、はっきりとした傾向がなく、運営が民間委託になった影響は特にないものと思われる。

【表1】青山台育成室の入室率の推移（1年生～3年生、5月1日時点）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青山台育成室	37.8%	34.2%	22.0%	19.3%	20.2%
全育成室	22.2%	24.1%	26.0%	27.4%	28.5%

【表2】青山台育成室の途中退室児童数の推移（1年生～3年生）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
青山台育成室①	5人	0人	3人	2人	5人
全育成室②	188人	184人	227人	252人	312人
①÷②	2.7%	0%	1.3%	0.8%	1.6%

3 青山台育成室の指導員配置について

青山台育成室の指導員の配置については、1教室での運営であるため、教室に配置する指導員が2名となっている。また、配慮を要する児童に対する加配が3名必要であるため、1日当たり5名の指導員の配置が必要であるが、きめ細やかな保育のため、独自に1名配置人数を多くして、1日当たり6名の指導員の配置を行っていた。勤務形態や保有資格等の内訳は、正規雇用の指導員2名で、それ以外は非正規（アルバイト）指導員であり、正規雇用の指導員が毎日育成室に勤務するのに対し、非正規雇用の指導員については、1週当たり3日～5日のシフトを組み、勤務に従事していた。保有資格としては、正規雇用の指導員は、教員の資格を保有しており、非正規雇用の指導員についても半数は、保育士や教員、社会福祉士の資格を保有している。

指導員間のチームワークは非常によく、様々な課題に直面した場合でも、主任指導員を中心として解決を図る姿勢が見られ、放課後子ども育成課の職員やSVとも積極的に連携を図り、育成室の保育内容の充実・向上を図る努力を感じることができた。

4 青山台育成室における保育内容について

(1) 日常の保育について

今年度は、当該委託事業者による運営が2年目ということもあり、初年度に比べてその内容は、格段に向上していることがうかがえた。初年度では少し手こずっていた集団づくりについても、今年度は野球やサッカー等の集団あそびや、ひまわり祭り等の全体での取り組みを通して、指導員が積極的に関わることでしっかりと子ども集団の形成を図ることができていた。また、お花見弁当やハロウィンウィーク、留学生との交流やハンドベル鑑賞など、バラエティに富んだイベントを開催し、参加する喜びや達成感を得られることによって、児童の健全育成に大きな影響を与えることになった。

配慮を要する児童への保育についてもSVによる助言を得ながら丁寧な保育を心がけておりおおむね良好に進めることができています。

(2) おやつを提供について

おやつは、児童の育成室の生活の中で大きなウェイトを占めるとともに、アレルギーの対策や量・種類の要望など、考慮すべき点は数多くあるが、おやつメニューを、アレルギー物質も含めて学級だよりに掲載している点は、保護者にとっても大きな安心につながっている。また、産地や添加物への配慮だけでなく、一部、自然食品を提供することも行っており、今後も継続してほしいところである。

(3) 事業者独自の活動（夏休みの英語体験や紙芝居等）について

青山台育成室では、独自の活動として英語体験を積極的に取り入れている。色や動物など身近な英単語を教わったり、海外からの留学生との交流を行っている。また、ハンドベルの鑑賞会では演奏体験も行うことができ、保護者のアンケートにおいても「もっと行ってほしい、継続してほしい」という回答を得ている。また、運営母体の大阪YWCAは、近隣のシャロン千里内に児童館も併設しており、幅広いあそびの場を提供している。

(4) 小学校・保護者との連携について

青山台育成室については、平成28年度当初は、育成室全体が落ち着かない雰囲気であったが、小学校とも連携し、放課後子ども育成課、委託事業者とが一体となって対応を図り、安定した運営を行うことができた。平成29年度以降もその協力体制は継続して行われており、様々な協力を得ることができていた。

また、保護者との連携については、対応が必要な児童や家庭には、頻度を上げて対応する等、丁寧な対応を心がけていた。

6 青山台育成室に関する保護者アンケートでの意見について

平成29年度中に、青山台育成室の入室児童の保護者に対して2回のアンケートを実施しているが、その集計結果を通して検証を進めていく。

(1) 指導員に関する保護者アンケートの結果について

年間アンケートにおいて、指導員についてどのような感想を持っているかについて、肯定的な回答と否定的な回答を集計したところ、【表3】のように、ほとんどが肯定的な意見であった。特に「指導員は児童の輪に入り、積極的に児童とかわりを持っていた。」「指導員も子ども達の集団に交じって、楽しんでいるようであった。」との意見が多く、子ども・保護者から大きな信頼を得ていることをうかがい知ることができる。

【表3】指導員についてどのような感想を持っているか

肯定的意見	否定的意見	未回答・その他	合計
95.4%	2.3%	2.3%	100%

(肯定的意見)

- ・児童の相談に乗り、児童の気持ちに寄り添うことができていた。
- ・指導員は児童の輪に入り、積極的に児童とかかわりを持っていた。
- ・育成室での出来事を、連絡帳や電話等を使い保護者に適切に伝えることができていた。
- ・危険なことやルール違反には毅然とした態度で、注意をすることができていた。
- ・いつも明るく、元気に児童や保護者と接することができていた。
- ・清掃や整理整頓など、育成室をきれいに保つため努力していると感じることができた。
- ・児童のことを丁寧に見ている印象があり、安心感を持つことができた。
- ・指導員も子ども達の集団に交じって、楽しんでいるようであった。

(否定的意見)

- ・表情が暗く、一生懸命仕事に取り組んでいないように感じた
- ・児童と積極的に関わっていないように感じた
- ・危険なことやルール違反に対して、傍観の姿勢が感じられた
- ・子ども達の気持ちを考えずに、業務を進めている印象を受けた
- ・日常の子ども達の様子を、連絡帳や電話でもっと知らせてほしかった
- ・保護者との距離感があり、気軽に声を掛けづらかった

(2) 児童・保護者の全体的な満足度に関するアンケート結果について

育成室全般について、入室児童がどの程度「楽しい場所となっているか」【表4】、及び保護者にとって「どの程度満足できるものとなっているか」【表5】を尋ねる質問である。

児童のアンケートでは90%、保護者へのアンケートではすべてが、「ウ」より低い評価は得ておらず、育成室全般に対して、児童・保護者ともその運営に対して概ね満足していることを表す結果となっており、今後も現行の運営方法を継続することが望ましいと考えられる。

【表4】児童の満足度

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	未回答	計	
とても楽しい		どちらでもない				つまらない					
30.0%	0%	60.0%	0%	10.0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

【表5】保護者の満足度

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	未回答	計	
十分満足できる			どちらでもない				不満である				
60.0%	0%	40.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

7 終わりに

青山台育成室運營業務について、放課後子ども育成課職員による巡回や、保護者アンケ

ートの結果等を用いて検証を行ってきた。現在の委託事業者における運営内容については、に良好に行われていると判断できる。アンケートの自由記述欄においても、「子どもが楽しそうにしている」等、子ども達が育成室を楽しんでいる様子が書かれた記述を多く見ることができ、子ども達にとって「育成室は楽しい場所である」との認識が広がっている。

今後とも現在の方針を継続し、保護者、学校、放課後子ども育成課とも連携を密にしながら、運営していくことが最善であると思われるが、今後、改善が必要なところはないかを検証しながら更なる向上を目指し、運営を行ってみたい。